

## セミナー「グローバル市場と国産材の可能性」及び 「中国の森林資源と木材需給の可能性について」実施報告



NPO 法人活木活木（いきいき）森ネットワークと日本木材輸出振興協議会等との共催による第三回目のセミナーが、平成21年5月21日（15:00～17:00）に千代田区の日林協会館大会議室で約50名の参加を得て開催されました。

最初の講師の遠藤日雄氏は、鹿児島大学農学部教授で、スギを初めとする国産材の需給及び林業・林産業について大変御造詣の深い方です。ちなみに、NPO 法人活木活木（いきいき）森ネットワークの理事長でもあります。

当日は、「グローバル市場と国産材の可能性」というテーマで御講演いただきました。

講演の内容は、世界的に見て、木材が資源インフレからデフレ懸念に変化している状況、ホワイトウッド集成管柱の価格・スギ立木価格の推移、北洋材の代替としての合板でのヒノキの使用例、東北・九州という2大産地でのスギ素材の製材用途と合板用途の競合等の状況、ロシア材の輸出課税による他の外材への代替の可能性の検討を含めた国産材素材生産・流通への影響、出力規模別製材工場数等の推移、国産材製材規模拡大の状況、宮崎県におけるスギ丸太価格の推移、乾燥しやすい材の選別による価格アップの事例等の紹介・説明を通じ、リアルタイムのグローバルな視点からの国産材の可能性について大変多角的で有意義なお話をさせていただきました。

二番目の講師の易浩若氏は、中国林業科学研究院資源情報研究所研究員で、中国の森林資源及び木材需給の状況について御造詣の深い方です。

当日は、「中国の森林資源と木材需給の展望について」というテーマで御講演いただきました。

講演の内容は、①中国に於ける国の林業発展戦略、発展目標、環境政策及び森林林業の位置づけ・果たすべき役割及び権利関係の整理等の中国林業の基本状況②用途別、林齢別面積・蓄積、植林面積の推移等の中国の森林資源状況③木材需給量、輸入量の推移、木材不足の解決政策等中国の木材需給の現況④木材・林産物需給の将来予測、木材生産と林産物貿易の発展可能性等木材需給の見通し⑤まとめとして、内外の大きな情勢変化を踏まえ、林業発展戦略に基づき、森林・林業政策を推進しており、木材需要と国内供給のギャップを植林推進、生産力向上、貿易のオープン化、海外投資などにより解決しようとしているというもので、特に中国の需給見通し及び中国国内の専門家の提言等本邦初公開(!?)の貴重なお話をさせていただきました。

時間の制約もあり、十分な質疑はできませんでしたが、盛会の内にセミナーを終了することができました。

当日は、マスコミ及び商社等関係業界など多くの方々に御参加いただきました。

講演者、参加者をはじめ、関係者の方々に感謝申し上げます。